

跳跳蛙  
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 1 4 浦島太郎



NPO法人 日本語多読研究会 主編

(日) 栗野 真紀子 改編

山中 桃子 插图



跳跳蛙  
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 1 4

浦島太郎

NPO法人 日本語多読研究会 主编  
(日) 栗野 真纪子 改编  
山中 桃子 插图

外语教学与研究出版社  
北京

京权图字：01-2008-1936

© Originally Published by ASK Co., Ltd., Tokyo Japan

### 图书在版编目(CIP)数据

跳跳蛙日语读库. Vol.1. 1④ / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2008. 5

ISBN 978-7-5600-7505-1

I. 跳… II. 日… III. 日语—自学参考资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 064633 号

出版人：于春迟

责任编辑：刘 军

装帧设计：王 军

出版发行：外语教学与研究出版社

社 址：北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址：<http://www.fltrp.com>

印 刷：北京国邦印刷有限责任公司

开 本：880×1230 1/32

印 张：0.875

版 次：2008 年 7 月第 1 版 2008 年 7 月第 1 次印刷

书 号：ISBN 978-7-5600-7505-1

定 价：27.90 元 (全五册)

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话：(010)88817519

物料号：175050001

## 日本語を勉強しているみなさんへ

「ごほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

わかるものをたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

## 「ごほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

「浦島太郎」は、日本の古い話です。

ここは、海の近くです。

太郎とお母さんのうちがあります。

太郎は、毎日、海へ行きます。

そして、魚をとります。





今日も、太郎は海へ行きました。

海に、子どもがたくさんいます。

子どもたちが、

棒で何かをたたきました。

亀です。





子どもたちは、棒で亀をたたきます。

「痛い！ 痛い！」

亀は泣きました。

太郎は、子どもたちに言いました。

「お金をあげましょう。」

私に、この亀をください」

「本当？ いいよ」

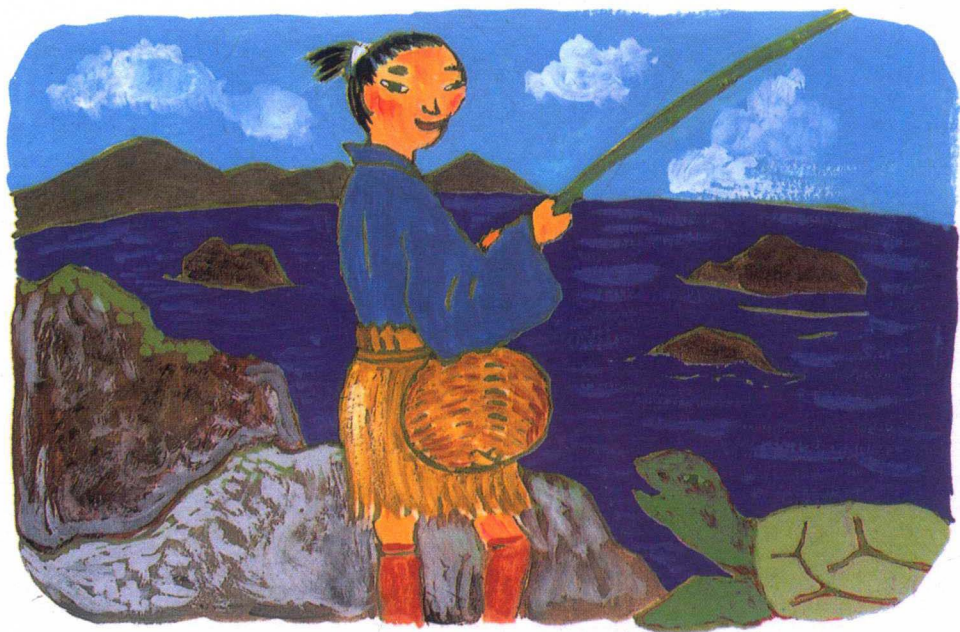
子どもたちは、亀を太郎にあげました。



「どうもありがとうございました」  
亀かめは言いいました。

そして、海うみに帰かえりました。





それから一週間。

太郎は、今日も海へ行きます。

いい天気です。

太郎は、今日も魚をとります。

そこに亀が来ました。

亀が言いました。

「あのときは、どうもありがとうござい

ました。海の中にも楽しいところが

あります。私と一緒に行きましょう。

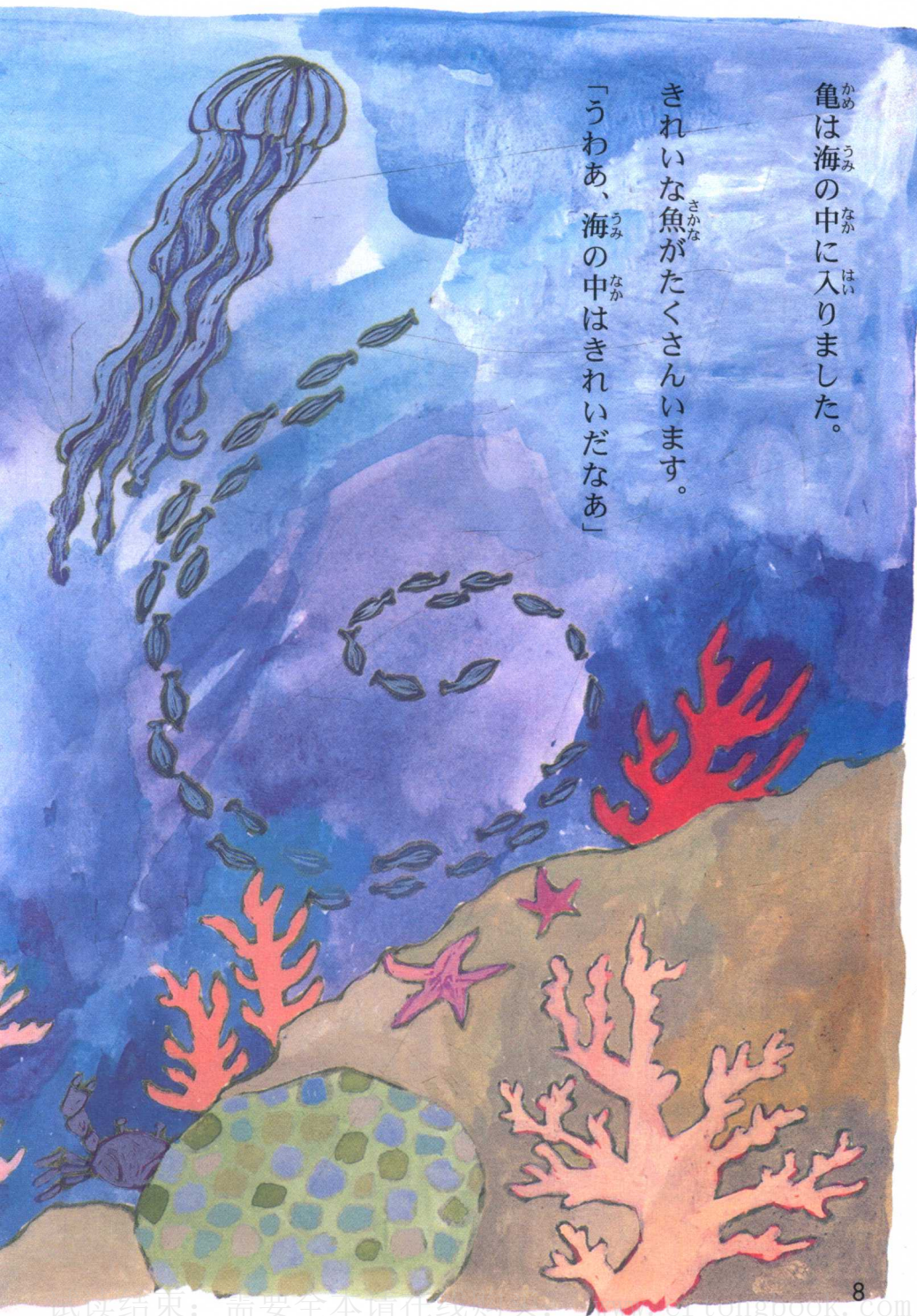
さあ、どうぞ」

太郎は、亀に乗りました。

かめ  
うみ  
なか  
はい  
亀は海の中に入りました。

きれいな魚がたくさんいます。

「うわあ、海の中はきれいだなあ」





かめ  
と たらう  
は、 大き  
い 城の  
前  
に 来  
まし  
た。

「こゝは 竜宮城  
ですよ」

かめ  
が 言  
いま  
し  
た。

竜宮城  
は と  
も  
き  
れ  
い  
で  
す。

たらう  
は、

かめ  
と 一  
緒  
に 竜宮城  
の中  
へ

は  
い  
り  
ま  
し  
た。



そこには、

とてもきれいな女おんなの人がいました。

太郎たろうは、亀かめに聞ききました。

「あのきれいな女おんなの人は、誰だれですか

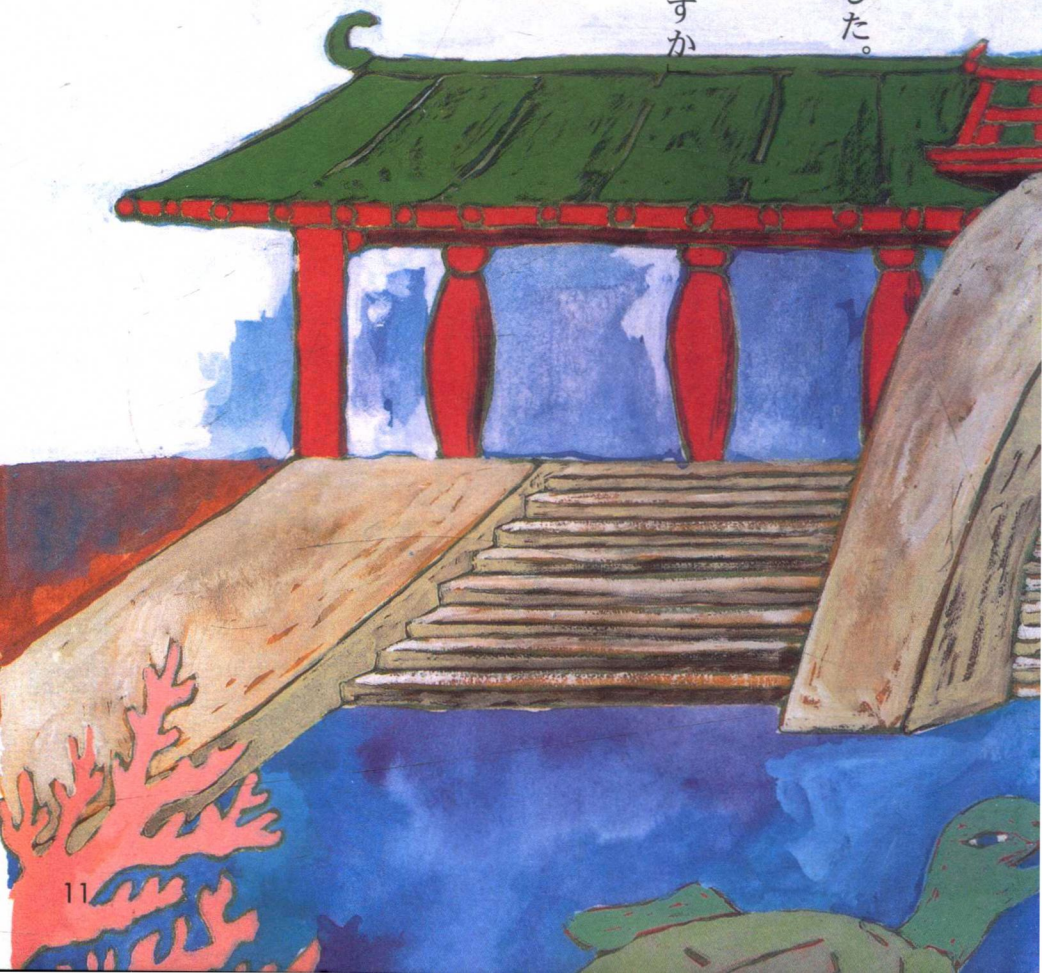
「乙姫おとひめさまですよ」

亀かめは答こたえました。

「あなたが太郎たろうさんですね。

さあ、こちらへどうぞ」

乙姫おとひめさまは太郎たろうに言いいました。



りゅうくうじょう  
竜宮城には、おいしい食べ物やお酒がたくさんあります。

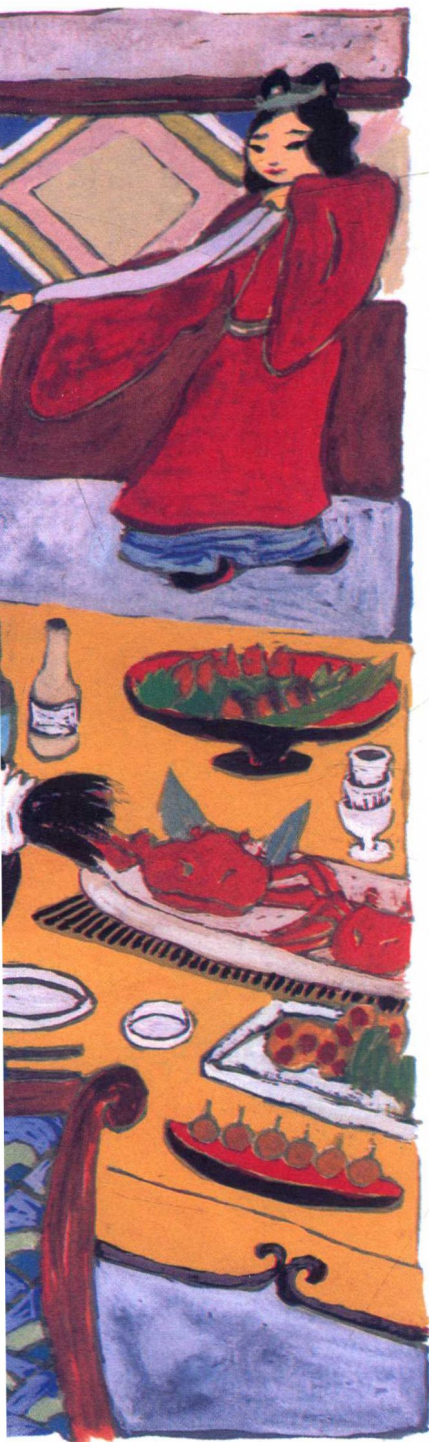
たろう  
太郎は、毎日、乙姫さまと遊びました。

そして、おいしい食べ物をたくさん食べました。

おいしいお酒もたくさん飲みました。

まいにち  
毎日、とても楽しいです。

いっしゅうかん  
一週間、二週間……、一か月、二か月……、一年、二年……。









ある日、乙姫さまが言いました。

「太郎さん、元気がありませんね。」

あまり食べませんね。どうしましたか？」

太郎は言いました。

「乙姫さま、私は、もう、

うちへ帰ります」

「えっ、どうしてですか」

乙姫さまは言いました。

「うちに、母が一人ですから」

太郎は言いました。